

SSH 特講説明会

7月22日(水)1学年のSSH特講受講者を対象に説明会を行いました。

8月以降に実施予定を予定している活動の具体的な内容について説明を受けました。

SSH特講の受講者35名の生徒たちは、金曜日の放課後の時間などを活用し、様々な科学的探究や各種科学的なイベントへの参加などを通して、科学についての学びをより一層深めていく予定です。



Guess (下水) イイ!プロジェクト with はこだて国際科学祭

「Guess (下水) イイ!プロジェクトとは」

若者に下水道の重要性を知ってもらうため、明電舎、東亜グラウト工業と朝日新聞DIALOGでプロジェクトを立ち上げました。「Guess」=「推測する・解き当てる」という意味を「下水」とかけ、目には見えない下水道を題材に、私たちの暮らしを支えている皆さんの「見えない何か・誰か」に思いを注いでほしい、また、下水道「イイね!」とプラスのイメージをもってほしいという願いをこめました。本プロジェクトに参加する若者たちには、下水道の役割・インフラの重要性についての理解を深め、自身の行動実態と共に、その魅力の「伝道師」となってくれることを期待しています。

2019年活動実績



「はこだて国際科学祭とのコラボで実現したいこと」

本イベントを通して函館の高校生・大学生と東京の大学生と社会人が一緒に「函館の未来」をデザインするワークショップ。今回は社会インフラのひとつである「下水道」を題材に未来をより豊かにする新テクノロジーをGuessし、未来の函館のまちが直面する課題を解決するためのアイデアを共創し、世界に発信する。

「プロセス」

※ファシリテーターは朝日新聞DIALOG学生(古野さん)を想定

ステップ①アイスブレイクミーティング(8月初旬1.0H) @オンライン

・企画主旨説明

・グループごとに自己紹介

※原則、この時点のグループでステップ③まで取り組む

※高校生2名・DIALOG学生・函館学生・社会人で1グループ×3グループ

・基礎知識インプット

①函館の市の歴史(インフラ構築)について

②下水道の専門家(大学教授・企業)から現在の下水道の現状・課題

③デザイン設計の専門家(大学教授)から問題解決の事例

・質疑応答

ステップ②プレストセッション(8/23 16:00-18:00 仮) @オンライン

20XX年の函館の町が抱える課題を想像し、そこで必要になるテクノロジーを考える

・今ある技術の紹介

・グループワーク

※アイスブレイクミーティングのメンバーで実施(一般人の聴講・質問・コメントは可とする)

※函館市に危機が今後も起こることを想定して「20xx年の下水道にはこんな機能(技術)が加わるから大丈夫!」みたいなプレスト&アイデアソンをグループごとに行う

・発表・質疑

※全員A3用紙と太いマシックを用意。各組で話し合った下水道の新テクノロジーを4コマ漫画にまとめる。

4人が自分の画面に絵をうつす。相互風情にプレゼンする。

※どんなコンテンツでもいいけど下水道の大切さやいる人に伝えられるかのアイデアが出ることも期待

・講評

※奥馬先生・加藤先生・谷口さん・高校教諭からそれぞれ講評いただく

ステップ③コンテンツ制作・発表(9-12月) @オンライン

科学祭で出たアイデアをもとに、高校生が下水道の価値を伝える動画等を作り、発表する

※発表媒体は各グループにて協議

→来年度以降、このコンテンツを使って下水道の魅力を拡散、新たなテーマの発掘を行う

8月23日(土)に行われる、「Guess (下水) イイ!プロジェクト with はこだて国際科学祭」にSSH特講受講者6名が参加します!

同プロジェクトは、若者に下水道の重要性を知ってもらうため、明電舎様、東亜グラウト工業様と朝日新聞DIALOG様が共同で立ち上げたプロジェクトです。プロジェクトに参加し、他の団体の方々との意見交流などを通して、日常生活では目にできない、下水道の役割やインフラの重要性などについて理解を深めたいと思います。

● 白尻巡検の中止について

8月11日、12日に予定していた白尻巡検は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、本年度の実施は中止となりましたので、ご報告いたします。代替の活動については決定次第HPにてご報告いたします。